令和４年度　事業報告書

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めましたが、大藤園、王司山田園ともに感染者が発生いたしました。幸に感染者が重症化することなく復帰することができました。

新型コロナ対応のため施設経営的には、大藤園（通所）は、利用者の利用率が下がったため、決算では、事業収入が減少し、当期活動増減差額△10,209,435 円となりました。王司山田園（入所）は、利用率が上がったため、当期活動増減差額 9,573,807 円となりました。

運営面では、市の実地指導及び指導監査が実施され、両施設とも「適切な運営である」とのことでした。

役員については、大野理事が令和 4 年 12 月にご逝去されました。

新型コロナウイルスは収束に向かい感染拡大防止措置も緩和されますが、感染防止に向けて注意して支援をしていきたいと存じます。

大藤園、王司山田園の運営報告等は各園の報告のとおりです。

１．　役　員

理　事　７名（令和４年１２月大野理事ご逝去）

監　事　２名

２．　理事会

理事会の開催（３回）

回数	開催日等	出席者数	議 案 等
第１回	R4. 6. 2	理事８人 監事２人	(1)決議事項 第1号議案　令和３年度事業報告について 第2号議案　令和３年度決算並びに監査報告について 第3号議案　育児･介護休業等に関する規程の一部改正について 第4号議案　定時評議員会の開催について (2)報告事項 ・理事長の職務執行状況の報告について ・社会福祉充実残額の報告について
第２回	R4. 12.1	理事７人 監事２人	(1)決議事項 第1号議案　令和４年度補正予算(案)について 第2号議案　職員給与規程の一部改正について 第3号議案　王司山田園指定障害者支援施設運営規程の一部改正について 第4号議案　王司山田園短期入所事業運営規程の一部改正について 第5号議案　社会福祉充実計画について (2)報告事項 ・育児･介護休業等に関する規程について ・令和4年度指定福祉サービス事業等に係る実地指導及び令和4年度障害者支援施設等に係る指導監査等の結果について
第３回	R5. 3. 2	理事６人 監事２人	(1)決議事項 第1号議案　令和４年度補正予算(案)について 第2号議案　令和５年度事業計画･予算(案)について 第3号議案　評議員会の開催について (2)報告事項 ・職員給与規程の一部改正について

３．　評議員会

評議員　９名

評議員会の開催(2 回)

回数	開催日等	出席者数	議　案　等
第１回 （定時）	R4.6. 24	評議員７人 監事　２人	(1)決議事項 第1号議案　令和3年度事業報告について 第2号議案　令和3年度決算並びに監査報告について (2)報告事項 ・育児･介護休業等に関する規程の一部改正について ・社会福祉充実残額の報告について
第２回	R5.3.17	評議員９人 監事　１人	(1)決議事項 第1号議案　令和４年度補正予算(案)について 第2号議案　令和５年度事業計画・予算(案)について 第３号議案　社会福祉充実計画の承認について (2)報告事項 ・職員就業規則の一部改正について

４．　監査会の開催

実施日	監事名	監査報告
R4．5．25	金田　興基 近藤　洋平	社会福祉法人開成会の令和３年４月１日から令和４年３月３１日までの令和３年度の理事の職務の執行の状況及び社会福祉法人開成会の財産の状況について、関係者立会いのもとで監査を実施した。別紙監事監査報告書のとおり、社会福祉法人開成会の理事の職務執行の状況及び事業報告書、決算報告書、附属明細書並びに財産目録は、適正であった。

５．　評議員選任・解任委員会　（委員３名）

開催なし。

６．　苦情解決第三者委員会

苦情解決第三者委員　　（委員２名）

令和４年度、苦情申出人からの申出は無かった。

７．　社会福祉充実計画

社会福祉充実計画(令和５年度～令和９年度)は、評議員会（R5.3.17開催）の承認を得て市へ協議申請した。市と協議し社会福祉充実残額が令和３年度末のため令和４年度末に修正して提出することとなった。

＜参考資料＞　　（単位：円）

年度	事業予算額	充実計画（残額） 充当予定額	事業実施額	実施内容
29	25,000,000	25,000,000	23,585,315	1.　土地購入等 （ 5,070,000 円）（14,248,800 円） 2.　宅建業者、司法書士、測量等支払 （ 2,527,715 円） 3.　家屋解体等準備工事 （ 1,738,800 円）
30	41,580,000	41,580,000	40,809,304	＜土地＞　9,122,104 円 1.　家屋 解体撤去工事等及び 伐採、整地工事等 （ 8,395,204 円） 2.　宅地 造成設計,許可申請等 （ 726,900 円） ＜構築物＞31,687,200 円 3.　擁壁・壁面保護及び舗装、水路等工事 （29,592,000 円） 4.　隣家等フェンス設置等工事 （ 2,095,200 円）
R1	1,000,000	1,000,000	0	アンケート調査等実施
R2	4,000,000	4,000,000	0	
R3	55,700,000	51,870,000	0	
合計	127,280,000	123,450,000	64,394,619	

８．職員数等

（令和５年３月 31 日現在）

区分	園長	サービス管理責任者	生活支援員（事務職含む）	看護師	栄養士	調理員	運転手	合計
大藤園	1	1	＜12＋（3）＞	(1)	1	(2)	(5)	26 15+(11)
王司山田園	1	1	＜21＋（2）＞	1	1	3+(1)	0	31 28+(3)
合　計	2	2	＜33＋（5）＞	1+(1)	2	3+(3)	(5)	57 43+(14)

（　）はパートタイム職員

区分	正職員		
項目	平均年齢	平均勤務年数	平均給料月額
大藤園	44.6 歳	11 年 1 ヵ月	２３３，４８３円
王司山田園	43.5 歳	10 年 8 ヵ月	２１４，４７８円

（調理員含む。再雇用職員、園長を除く。）

９．法人全体決算について

令和 4 年度決算を事業活動の成果を明らかにする事業活動計算書で見ると、法人全体のサービス活動収益の計は、336,425,234 円、サービス活動費用の計は、342,541,880 円、サービス活動増減差額は、

△6,116,646 円で、サービス活動外増減の部のサービス活動外増減差額は、5,457,817 円、経常増減差額は、△658,829 円となっている。特別増減の部においては、特別増減差額は 111,667 円となり、その結果当期活動増減差額は、△547,162 円となった。

令和４年度　大藤園事業報告

□事業所運営

令和４年度においても、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めました。行事等は中止又はできるだけ縮小し施設内で行いました。また、大藤園において、ワクチン接種を実施しました。

（R4.9月　オミクロン対応ワクチン接種）（R3 年度 3 回）

しかし、令和 5 年 2 月 2 日～10 日の間に利用者 18 名、職員 5 名がコロナウイルスに感染し、感染者（濃厚接触者含む。）の対応に追われました。休園、決められた期間の自宅待機等の処置を行い、感染者が重症化することなく復帰し、園運営も通常に回復することができました。利用者、保護者、職員をはじめ関係するすべての方々のご協力に対し感謝しております。

なお、関係行政機関、福祉関係団体（県知的障害者福祉協会等）、保護者等の良好な関係を維持継続しました。

園の営業日は、年間 266 日。休園日 3 日（雪 1 日　コロナ 2 日）

（１）利用者の状況報告

令和４年度当初、55 名でスタートした。利用者 1 名の退園と利用者 1 名が新たに通園した。

区分	性別	年齢	支援区分	年月日	概要
退園者	女性	36	4	R4.6.30	他入所施設へ
通園者	男性	24	5	R5.1. 5	他通所施設から

また、令和 5 年 4 月から新しく通園予定の 2 名が 3 月から通園した。

区分	性別	年齢	支援区分	年月日	概要
通園者	女性	18	4	R5.3. 13	支援学校から
通園者	男性	18	5	R5.3. 27	〃

なお、週 1 日の利用者 1 名が通園しているので延契約利用者数は 58 名。

平均年齢は 36.2 ヵ月　平均通所年数 16.10 ヵ月

※受給者証に「生活介護加算重度障害者支援」と記載されている者は 14 名。（療育手帳 A 所持者 31 名。）

利用率は 82.2%　一日平均利用者数 45.2 人
支援区分は、以下のとおりで平均支援区分は 4.3

（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	男（人）	女（人）	合計（人）
支援区分３	６	４	１０
支援区分４	１４	１２	２６
支援区分５	１４	４	１８
支援区分６	３	０	３
合計	３７	２０	５７

（週１日の利用者１名　支援区分６あり）

（２）支援計画

個別支援計画については、サービス管理責任者が本人の強み等に注目して原案を作成し、相談支援事業所と連携して、また利用者本人、保護者から意向を聞いた上、職員等で十分協議検討し計画を作成して実施した。

（３）支援内容

支援内容は、班を大きく男性班、女性班に分け、その中で７名～８名の小人数グループを作る。支援については、担当制を廃止し、支援員が、利用者各人に対して同じ支援ができる体制をとることとした。原則として 生産活動は、月・水・金とし、火・木・土は生活支援活動（身だしなみ・清掃活動など）クラブ活動（音楽、ダンス、創作等）を実施した。さらに内容を工夫して余暇活動、リラックスタイム、上映会等を園内で実施した。

また、書道教室（月２回)、生け花教室（月１回）も行った。

令和４年度　行事一覧表

月	行　事　名	場　所
5	フジリンピック（園内レクリエーション）	大藤園
6	小グループ調理（今川焼・飲み物）	〃
9	大藤縁日	〃
10	体育祭	〃

11	園内ボウリング大会、芋会	〃
12	小グループ　外出	ゆめタウン長府、深坂,東行庵
1	新年会・成人を祝う会	長府公民館
3	豆まき、自治会行事	大藤園

（原則コロナ禍のため園内で実施）

（４）職員の動静

職員の動静については、R5.3.31 に生活支援員１名、栄養士１名が退職した。(R5.4.1 栄養士１名採用予定。生活支援員補充予定なし。)

（５）研修

令和４年度は、職員１名（女性）が介護福祉士に合格した。コロナ禍のため必要な研修会等へ参加した。オンライン研修もあった。

（社会福祉士２名、介護福祉士５名、保育士１名）

職員等研修実績表

月日	研修名	主催	場所	人数(人)
8/26～28	社会福祉士養成所スクーリング	日本知的障害者福祉協会	福岡市	1
10/5	社会福祉法人 BCP（事業継続計画）策定研修会	県福祉法人経営者協議会	山口市	1
10/19・20	サービス管理責任者研修（実践）	ＹＩＣ学院	山口市	2
12/ 6・7	〃	〃	〃	1
11/15	経理事務研究会	県福祉協会	山口市	1
11/28	県障害者虐待防止・権利擁護研修	県社会福祉士会	山口市	1
1 /19	県知的障害者福祉協会施設長会	県福祉協会	山口市	1
3/24	R4 第三者評価調査者継続研修会	山口県	Zoom	1

「市自立支援協議会」に参画し会議、研修会に参加した。

月日	研修名	主催	場所	人数
4/8～ 延 11 回開催	自立支援協議会（くらしの部会）	基幹相談支援センター	福祉センター	1

7/21	自立支援協議会（全体会）	下関市	市役所	1
（6/7）	〃　　（定例打合せ会）	〃	福祉センター	1
2/16	自立支援協議会（全体会）	〃	勤労福祉	1
（1 18）	〃　　（定例打合せ会）	〃	福祉センター	1
5/27~ 延 6 回開催	地域生活支援拠点等整備検討部会	〃	福祉センター	1
8/12	第 1 回下関市自立支援協議会 専門部会全体研修会	基幹相談支援センター	Zoom	1
2/21	第 2 回下関市自立支援協議会 専門部会全体研修会 （　障がい者虐待防止研修会）	基幹相談支援センター	福祉センター	2
11/30～ 延 3 回開催	エキマチうきうきフェスタ実行委員会	下関市	福祉センター	1

（６）施設整備等

職員が、毎月事業所内安全点検を継続して実施し、事故やけがの防止及び不良個所の調査に努め、安心安全、快適な環境になるよう施設点検を行った。

（７）地域における公益的な取り組み

コロナ禍のため買物支援事業は中止、行事等への参加は少なかった。

１．買物支援事業

実施しなかった。

２．長府東地区まちづくり協議会への参画

（まちづくり協議会、自主防災組織への参画）

月日	研修名	主催	場所	人数(人)
5/24～ 延 10 回開催	長府東部地区まちづくり協議会	長府東部地区まち協	長府東公民館	1
6/11～	防災会議	〃	〃	1

３．長府地区行事等への車輌の貸出及び職員の参加、協力

（長府城下町マラソン大会等）

４．下関長府ライオンズクラブから、花の苗の寄贈があった。園

内花壇等に植え町内美化活動に協力している。

（８）実習生の受入れ

下関総合支援学校高等部７人の実習を受け入れた。

実習期間	性別	区　分	学　　年	人数
6 月 6 日~17 日	女	下関総合支援学校	高等部 3 年生	1 人
6 月 20 日~7 月 1 日	男	下関南総合支援学校	高等部 2 年生	1 人
7 月 4 日~15 日	男	下関総合支援学校	高等部 3 年生	1 人
9 月 12 日~22 日	男	〃	高等部 3 年生	1 人
10 月 24 日~11 月 4 日	男	〃	高等部 3 年生	1 人
11 月 7 日~18 日	女	〃	高等部 2 年生	1 人
11 月 30 日~12 月 2 日	女	〃	中学部 3 年生	1 人

（９）広報活動

本年度は、 広報誌「大藤園タイムズ」はコロナ禍のため行事等が中止となったので発行しなかった。

（10）防火・防災活動

毎月、消火・避難訓練（地震・風水害を含む）を実施し、非常時の対応の訓練を行った。

（11）給食

利用者全員を対象として、日本人の食事摂取基準に基づいて、個人に合う給食の提供に努め健康の増進を図った。家庭からの要望、支援員が食事の介助にあたり、必要だと考えられる者に対して、量・食事の形態等、利用者個々に合った給食を提供している。毎月１～２回選択メニューを実施し、給食だよりを配布した。年に１回嗜好調査（家庭用アンケート）を実施し、給食に反映できるように努めている。

(12)虐待防止委員会の開催

（委員６人：園長、サービス管理責任者、支援員、利用者、保護者、理事）

コロナ禍のため R4.10 月までは委員会を開催せず、11 月以降次のとおり委員会を開催し虐待防止に努めた。

また、令和４年度から運営基準の改正により義務化された「身体拘束適正化検討委員会」を開催するとともに職員に周知した。　　・ヒヤリハット件数（令和４年度 21 件）

委員会開催状況

No.	年月日	内容
1	R4.11.12	ヒヤリハット、セルフチェックの報告、検討（4 月～10 月）
2	R4.12.17	身体拘束適正化検討委員会の開催
3	R5. 3.11	ヒヤリハット、セルフチェックの報告、検討（11 月～2 月）

ヒヤリハット内容

No.	内　容	件数	事 例
1	怪我、傷等	1	・草取中、虫にさされる
2	自分を傷つける	1	・不調となり、壁に頭をぶつける
3	他利用者をたたく、つかむ、小突く	7	・苦手な利用者へ向かう ・不快を示す行動の１つ ・通りすがりにたたく
4	支援員をたたく、噛みつく	3	・不快を示した時に行動としてあらわれる
5	大声をだす	2	・苦手な利用者に対する不満を発散するため
6	無断外出	1	・窓から飛び出して
7	器物損壊	3	・壁をたたく ・物をなげる ・CD デッキに放尿する
8	送迎中	1	・登園中、バス内でかばん、くつを投げる ・支援員につかみかかる
9	車の装置をさわる	1	・個別の支援対応中
10	その他	1	

・ヒヤリハットの報告

職員は、利用者のヒヤリとした様子、事故に繋がるような事案、利用者への接遇等を報告し、職員間で問題等を共有して虐待防止に努めている。さらに委員会に報告、協議して必要な事案については、職員にフィードバックしている。

・セルフチェックの報告

職員は、毎日セルフチェックをして報告し、気付きや改善点等意見を出し合っている。取りまとめたものを委員会に報告している。

・意見箱の投書報告

利用者から４件：給食、DVD,映画の好み、戸の不具合等。

（13）その他

新型コロナウイルス感染予防のため、毎日ドアノブ等の消毒、トイレ清掃を行った。職員も勤務中や外出時のマスクの着用と不要不急の外出は避けて、出勤前に検温等健康管理し感染予防に努めた。なお、2月に利用者18名、職員5名のコロナウイルス感染が発生し、休園した。また、濃厚接触者にあたる支援員、利用者については決められた期間の自宅待機を実施した。

（14）生産活動

収入は1,708,630 円と前年度に比べて△59,180円の微減であった。前年度同様、生産活動中心の日課から創作活動、クラブ活動（音楽、スポーツ、創作等）等の日課へ割り振り、年間の行事等考慮して活動している。作業内容は受注調整を行い利用者がずっと同じ作業をするのではなく、利用者に合った作業を経験できるよう取り組んでいる。

※利用者一人当り平均工賃　月額約2,111円　（R3　2,140円）

令和４年度　業者別収入実績表

業者名	内容	金額（円） ( )前年度	業者名	内容	金額（円） ( )前年度
松田商店	ウエス作成	267,900 (494,280)	岡本紙工	本、チラシ折り、貼り等	45,600 (7,000)
長府工産(株)	部品組立等	436,386 (419,908)	日の出紙器工業(株)	段ボール折り等	0 (22,316)
(株)ムラカワ	自転車部品組立等	569,923 (554,059)	ヤマムラ進物	進物箱詰め等	0 (0)
(株)ウエキ	箸袋詰め	90,750 (65,615)	(株)タカハシ包装センター	瓶ラベル貼り	8,729 (44,383)
(株)キューセン	クリーニング用品 (乾燥剤等)	93,800 (54,600)	古紙売却等	段ボール 新聞等、	12,330 (15,590)
(株)三和印刷	印刷物 シール貼り等	38,556 (49,504)	長府東部地区まちづくり協議会	紙折り	0 (20,000)
(株)アートネクスト	印刷物 シール貼り等	16,000 (14,400)	野菜売却	きゅうり、トマト、枝豆等	2,080 (6,155)
長府機工(株)	部品組立等	126.576 (0)			
合　　計			1,708,630 (1,767,810)		

前年度対比　　△59,180 円